グループワーク

トリの目で緑地の未来を描こう！の発表

全体

緑地が広がっていく

緑地がアトリバのように拡大していく（G）

障がいのある人もたくさん住むまち
植えることにも関われるとよい（G）
（拠点施設）

一つになっても緑地ですごせる

大人も子どもも自由に遊べる

人と人とのつながりあった
子供がかつて自由に遊んでいた
（南：エントランス）

大人も子どもも遊び心を発揮できる場所へ
世代と交流できる
エントランス広場

防災機能

みどりと活用したエネルギーなどを使って、非常時も安心な緑地
エントランス広場周辺

防災体験をする

園路、拠点

障がいのある方の関わり

木

100年先のシンボルをつくる
サクラ・スズカケ広場

木陰などみどりの量が少なくなった中に感じられる緑地
幼木を加えて樹林を更新していく
サクラ広場、スズカケ広場

生態系の維持

生きもの相としらべ、生態系の核に生かす

世代をこえて対話、共に学び合える場
子供も多様な人がすごせる
子供も多様な人がすごせるどうして遊ぶ
（泉に集まる鳥たち）

テクノロジーを活用した維持管理

AI活用

自然×共生×AI
人の営み、環境、共生

土地柄の人がAIやロボットを活用しながら手入れに関われる未来

生物多様性の木林

1世のナゾは自然の中にある！
AIもこういうことに使われていく…

未来への希望、心配と関くことができた

難しいワークだったが関わっていく、広がって…
全国に先駆けて循環のまちづくりと進めたまちの力を見た。

世代をこえてまちがとつながるのは難しい
（財政面など）
どうしたらいいか。
自然の循環をうまくいくことなのかな
100年つづくエンジンと考えたい

地と南で役割を分ける

南の快適地
北の多様な生物の生息地
北
南
（全体）

役割を分ける

快適
生きもの

桜が咲いている

みどりと人が循環する

（エントランス広場周辺）

周辺の寺社林や農地とともに発展していきたい
対応全体

水路、湿地がつながり、コミュニティのつながりの基盤に。

すずかけ

コミュニティづくり

多世代交流の場
・ラジオ体操（スズカケ）
・園芸会（サクラ）スズカケ

寺町農園ものつながり・交流
・庭園鳥物語店
・庭工農家
→エンディング
→自然になじむ・季節につう

まち全体

新しい農業政策をつくる。
町全体

人が自然とつながる、感じられるくらし

樹木多く、畑が点在
古墳、生きもの多く
個人の家と一体となっていた。
（南：全体）

五感で感じるみどり
・水の音、匂い
・モヤ
・いやされる場

水

水のきらめきを増やす
歴史の庭

緑地の「水」を活かした
（雨水、井戸、災害対策）

モヤ

自然とくらしがまざりあう
新たな価値観
～自然とつながる～
・でも動物のフンがいやだ
・虫がでてきたけど嬉しい

子どもが自由に遊べる

作りこみすぎない

（用賀プロムナード…最近新手入れがう）
作りこまない